

人工海浜も海開き



7月19日、庄南ビーチ（西安下庄）とビー玉海岸（久賀）で海開きが行われました。シーズン中に事故もなく安全に泳げるようにと関係者が安全を祈願。設備の整った人工海浜である両ビーチは毎年多くの海水浴客でにぎわいます。

ビー玉海岸では神事のあと、久美保育所の園児が海水浴を楽しみました。（写真）最初は波打ち際でおそるおそる足をつけていた子どもたちも、水をかけ合ったり泳ぎの練習をしたりとおおはしゃぎ。今年の夏も楽しく泳ぐことができそうです。

砂浜での戦い ビーチバレー

7月8日「第14回サザンレク片添山口県知事杯ビーチバレー2007」が、片添ヶ浜で開催されました。

大会当日は、雲間から時折晴れ間がのぞく絶好のコンディションで、県内外から129チーム318人の参加がありました。2人制の男子・女子チーム、4人制の混合チームなどに分かれて出場した選手たちは、砂浜で懸命にバレーボールを追い、熱い戦いを繰り広げました。



活動しています 「日見地域通貨」

大島では、昔から「結い」や「手間替え」という形で近隣同士がお互いに助け合い・支え合ってきました。しかし、最近では少子・高齢化によって住民のコミュニティ意識も薄れ、そのような風習も少なくなってきました。

そこで「みんなが安心して暮らせる地域づくり」を目指して、大島地区日見では平成15年度に地域内の自治会、老人会、婦人会、子供会などで組織する「地域通貨推進協議会」を設置。地域通貨（のんた通貨券）を活用したボランティア活動を推進しています。

平成19年度の会員数は122名。仕組みは、奉仕メニュー20種目を設定し、1枚の「のんた通貨券」で1時間を限度に、会員間で奉仕の受け渡しを行っています。

また、この度、この活動がマツダ財団（広島県）に認められ、「マツダ財団第23回市民活動支援金」の贈呈を受けました。



地域内の桜並木に施肥、敷き草をする日見区子供会の皆さん



※地域通貨を活用したボランティア活動に関心のある方は、役員政策企画課地域振興班 ☎74・1007までお問い合わせください。